

計	104	4	772	218	22	38	656	1	1,815
---	-----	---	-----	-----	----	----	-----	---	-------

表4. 2. 7. 9 医療的ケアの有無ごとの子どもの学年（小学部）

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
1年	24	133	5	162
2年	45	215	6	266
3年	42	254	3	299
4年	57	259	4	320
5年	49	328	2	379
6年	50	332	2	384
無回答	0	5	0	5
計	267	1,526	22	1,815

表4. 2. 7. 10 子どもの学年（中学部）

	人数（人）	比率（％）
1年	431	29.0
2年	510	34.3
3年	538	36.2
無回答	6	0.4
計	1,485	100.0

表4. 2. 7. 11 子供の障害種ごとの子どもの学年（中学部）

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
1年	17	4	212	50	5	8	134	1	431
2年	17	2	262	45	8	15	160	1	510
3年	14	3	260	61	9	13	176	2	538
無回答	0	0	3	1	0	1	1	0	6
計	48	9	737	157	22	37	471	4	1,485

表4. 2. 7. 12 医療的ケアの有無ごとの子どもの学年（中学部）

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
1年	69	357	5	431
2年	63	440	7	510
3年	66	464	8	538
無回答	0	6	0	6
計	198	1,267	20	1,485

表4. 2. 7. 13 子どもの学年（高等部）

	人数（人）	比率（%）
1年	593	32.2
2年	735	39.9
3年	509	27.6
無回答	5	0.3
計	1,842	100.0

表4. 2. 7. 14 子供の障害種ごとの子どもの学年（高等部）

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
1年	20	0	340	60	17	17	136	3	593
2年	14	0	445	58	8	28	178	4	735
3年	16	2	295	37	14	12	131	2	509
無回答	2	0	3	0	0	0	0	0	5
計	52	2	1,083	155	39	57	445	9	1,842

表4. 2. 7. 15 医療的ケアの有無ごとの子どもの学年（高等部）

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
1年	58	527	8	593
2年	70	657	8	735
3年	50	450	9	509
無回答	0	5	0	5
計	178	1,639	25	1,842

4. 2. 8 子供の障害種別（設問「お子さんの障害をお教え下さい。（該当するすべてに○）」）

表4. 2. 8. 1には、子供の障害を示した。

表4. 2. 8. 1 子どもの障害

	人数（人）	比率（％）
視覚	219	4.2
聴覚	15	0.3
知的	2,604	50.1
肢体	530	10.2
病弱	83	1.6
その他*	132	2.5
視覚, 聴覚	6	0.1
視覚, 知的	106	2.0
視覚, 肢体	26	0.5
視覚, 病弱	2	0.0
視覚, その他*	10	0.2
聴覚, 知的	27	0.5
聴覚, 肢体	10	0.2
聴覚, 病弱	1	0.0
聴覚, その他*	2	0.0
知的, 肢体	658	12.6
知的, 病弱	55	1.1
知的, その他*	358	6.9
肢体, 病弱	12	0.2
肢体, その他*	9	0.2
病弱, その他*	7	0.1
視覚, 聴覚, 知的	5	0.1
視覚, 聴覚, 肢体	2	0.0
視覚, 知的, 肢体	112	2.2
視覚, 知的, 病弱	3	0.1
視覚, 知的, その他*	5	0.1
視覚, 肢体, 病弱	2	0.0
聴覚, 知的, 肢体	32	0.6
聴覚, 知的, 病弱	1	0.0

聴覚, 知的, その他*	5	0.1
知的, 肢体, 病弱	60	1.2
知的, 肢体, その他*	21	0.4
知的, 病弱, その他*	8	0.2
肢体, 病弱, その他*	3	0.1
視覚, 聴覚, 知的, 肢体	23	0.4
視覚, 聴覚, 知的, 病弱	1	0.0
視覚, 知的, 肢体, 病弱	15	0.3
視覚, 知的, 肢体, その他*	3	0.1
聴覚, 知的, 肢体, 病弱	2	0.0
知的, 肢体, 病弱, その他*	3	0.1
視覚, 聴覚, 知的, 肢体, 病弱	3	0.1
視覚, 聴覚, 知的, 肢体, その他*	2	0.0
視覚, 知的, 肢体, 病弱, その他*	1	0.0
無回答	18	0.3
計	5,202	100.0

「その他*」の記述内容

子どもの障害の「その他」の記述は532件あった。主な障害は「自閉症」(268件)、「発達障害」(107件)、「ダウン症」(20件)、「精神障害」(16件)、「てんかん」(14件)、「ADHD」(8件)であった。

4. 2. 9 医療的ケアの有無 (設問「お子さんは、学校で医療的ケアを受けているかどうかをお教え下さい。(○は1つ)」)

表4. 2. 9. 1は、医療的ケアの有無を示した。表4. 2. 9. 2には子供の障害種ごとの医療的ケアの有無を示した。

表4. 2. 9. 1 医療的ケアの有無

	人数 (人)	比率 (%)
受けている	647	12.4
受けていない	4,485	86.2
無回答	70	1.3
計	5,202	100.0

表4. 2. 9. 2 子供の障害種ごとの医療的ケアの有無

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
受けている	13	0	145	134	13	12	328	2	647
受けていない	203	15	2,433	385	63	118	1,256	12	4,485
無回答	3	0	26	11	7	2	17	4	70
計	219	15	2,604	530	83	132	1,601	18	5,202

4. 2. 10 通学に要する時間（設問「お子さんがご自宅から学校に到着するまでのおよその時間をお教え下さい。」）

表4. 2. 10. 1に通学に要する時間を示した。表4. 2. 10. 2には子供の障害種ごとの通学に要する時間を、表4. 2. 10. 3には医療的ケアの有無ごとの通学に要する時間を示した。

表4. 2. 10. 1 通学に要する時間

	人数(人)	比率 (%)
0～15分	588	11.3
15～30分	1,362	26.2
30～45分	1,375	26.4
45～60分	626	12.0
60～75分	776	14.9
75～90分	151	2.9
90分以上	227	4.4
無回答	97	1.9
合計(人)	5,202	100.0

表4. 2. 10. 2 子供の障害種ごとの通学に要する時間

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
0～15分	14	1	269	82	14	19	186	3	588
15～30分	38	3	582	174	24	46	493	2	1,362
30～45分	37	2	706	139	19	26	442	4	1,375
45～60分	23	2	357	55	7	16	163	3	626
60～75分	59	6	444	42	16	17	190	2	776
75～90分	9	1	86	12	0	1	42	0	151
90分以上	34	0	107	16	2	4	64	0	227

無回答	5	0	53	10	1	3	21	4	97
合計（人）	219	15	2,604	530	83	132	1,601	18	5,202

表4. 2. 10. 3 医療的ケアの有無ごとの通学に要する時間

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
0～15分	93	482	13	588
15～30分	216	1,132	14	1,362
30～45分	182	1,175	18	1,375
45～60分	62	559	5	626
60～75分	54	714	8	776
75～90分	15	135	1	151
90分以上	17	207	3	227
無回答	8	81	8	97
合計（人）	647	4,485	70	5,202

4. 2. 11 自宅から学校に登校する際の手段等（設問「自宅から学校に登校する際の手段等についてお伺いします。」）

（1）登校時のスクールバスの利用状況（設問「お子さんは登校時にスクールバスを利用していますか。（○は1つ）」）

表4. 2. 11. 1には、登校時のスクールバスの利用状況を示した。表4. 2. 11. 2には子供の障害種ごとの登校時のスクールバスの利用状況を、表4. 2. 11. 3には医療的ケアの有無ごとの登校時のスクールバスの利用状況を示した。

表4. 2. 11. 1 登校時のスクールバスの利用状況

	人数（人）	比率（％）
利用している	2,395	46.0
利用していない	2,788	53.6
無回答	19	0.4
計	5,202	100.0

表4. 2. 11. 2 子供の障害種ごとの登校時のスクールバスの利用状況

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
利用している	42	3	1,386	228	6	34	688	8	2,395

利用していない	175	12	1,208	300	75	98	912	8	2,788
無回答	2	0	10	2	2	0	1	2	19
計	219	15	2,604	530	83	132	1,601	18	5,202

表4. 2. 1 1. 3 医療的ケアの有無ごとの登校時のスクールバスの利用状況

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
利用している	207	2,164	24	2,395
利用していない	439	2,308	41	2,788
無回答	1	13	5	19
計	647	4,485	70	5,202

(2) スクールバスを利用して登校していると回答した人への質問(設問「スクールバスを利用して登校している方にお伺いします。」) <回答者数2,395人>

a) 自宅からスクールバスのバス停までの付き添いの状況(設問「スクールバスを利用して登校している方にお伺いします。自宅からスクールバスのバス停まで付き添いをしていますか。(○は1つ)」 <スクールバスを利用して登校していると回答した人数2,395人>)

表4. 2. 1 1. 4には、自宅からスクールバスのバス停までの付き添いの状況を示した。表4. 2. 1 1. 5には子供の障害種ごとの自宅からスクールバスのバス停までの付き添いの状況を、表4. 2. 1 1. 6には医療的ケアの有無ごとの自宅からスクールバスのバス停までの付き添いの状況を示した。

表4. 2. 1 1. 4 自宅からスクールバスのバス停までの付き添いの状況

	人数(人)	比率(%)
自宅から学校までスクールバスを使って自力で登校している	208	8.7
スクールバスのバス停までは付き添いをしている	2,178	90.9
無回答	9	0.4
計	2,395	100.0

表4. 2. 1 1. 5 子供の障害種ごとの自宅からスクールバスのバス停までの付き添いの状況

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
自宅から学校までスクールバスを使って	7	0	147	16	2	7	28	1	208

自力で登校している									
スクールバスのバス停までは付き添いをしている	33	3	1,236	211	4	25	659	7	2,178
無回答	2	0	3	1	0	2	1	0	9
計	42	3	1,386	228	6	34	688	8	2,395

表4. 2. 1 1. 6 医療的ケアの有無ごとの自宅からスクールバスのバス停までの付き添いの状況

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
自宅から学校までスクールバスを使って自力で登校している	17	185	6	208
スクールバスのバス停までは付き添いをしている	189	1,971	18	2,178
無回答	1	8	0	9
計	207	2,164	24	2,395

b) 付き添いをしている理由と主な付添人（設問「登校時に自宅からバス停まで付き添いをしている方にお伺いします。付き添いをしている理由と主として付き添っている人をお教えてください。」）

1) 付き添いをしている理由（設問「付き添いをしている理由」）

登校時に付き添いをしている理由についての記述は、2,145件あった。主な意見は、「自宅から遠い」、「公共交通機関を使う能力の不足」、「危険認知が困難」、「体力不足」、「てんかん等の疾患」、「学校の方針」であった。以下、代表的な意見を示した。

- ・自宅から遠い片道45kmの支援学校に通わせているので、バス停まで片道30分かかるため
- ・子ども一人で公共交通機関を使用できない。
- ・何かに気をとられて道路に飛び出したり、信号を渡っていくので一人では行かせられない。
- ・病弱なため、車での送迎でないと疲れてしまう。
- ・医療的ケアが必要であり、生活の全てにおいて介助が必要です。バス乗車時はケアが出来ない為、乗車前に吸引などをする為
- ・学校で付き添いをするよう決まっているから

2) 主として付き添っている人（設問「主として付き添っている人（○は1つ、複数回答有り）」）

表4. 2. 11. 7に主として付き添っている人が誰なのかを示した。表4. 2. 11. 8には子供の障害種ごとに主として付き添っている人を、表4. 2. 11. 9には医療的ケアの有無ごとに主として付き添っている人を示した。なお、表中の割合は「付き添いをしている」に該当する2,178人に対する比率を示した。

表4. 2. 11. 7 主として付き添っている人

	人数 (人)	比率 (%)
父親	203	9.3
母親	1,879	86.3
兄弟姉妹	6	0.3
祖父	37	1.7
祖母	53	2.4
その他	41	1.9
無回答	7	0.3

表4. 2. 11. 8 子供の障害種ごとの主として付き添っている人

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
父親	7	1	120	18	1	3	53	0	203
母親	23	2	1,068	182	3	22	570	5	1,875
兄弟姉妹	0	0	5	0	0	0	1	0	6
祖父	0	0	19	8	0	0	9	1	37
祖母	0	0	32	3	0	0	17	1	53
その他	3	0	17	3	0	1	17	0	41
無回答	0	0	5	0	0	0	2	0	7

表4. 2. 11. 9 医療的ケアの有無ごとの付添人

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
父親	14	188	1	203
母親	162	1,696	17	1,875
兄弟姉妹	0	5	1	6
祖父	5	32	0	37
祖母	5	48	0	53
その他	6	35	0	41

無回答	1	6	0	7
-----	---	---	---	---

c) 登校時のスクールバスがバス停を発車する時間（設問「登校時のスクールバスがバス停を発車する時間をお教えてください。」）

表4. 2. 11. 10に登校時のバスの発車時間を示した。表4. 2. 11. 11には子供の障害種ごとの発車時間を、表4. 2. 11. 12には医療的ケアの有無ごとの発車時間を示した。

表4. 2. 11. 10 登校時のスクールバスがバス停を発車する時間

	人数（人）	比率（％）
～7:00	2	0.1
7:00～7:15	14	0.6
7:15～7:30	78	3.3
7:30～7:45	223	9.3
7:45～8:00	429	17.9
8:00～8:15	552	23.0
8:15～8:30	587	24.5
8:30～8:45	312	13.0
8:45～9:00	104	4.3
9:00～10:00	15	0.6
無回答	79	3.3
計	2,395	100.0

※4. 2. 11「スクールバスを利用している」に該当する2,395人の回答
（もっとも早い…6：30、もっとも遅い…9：50）

表4. 2. 11. 11 子供の障害種ごとの登校時のスクールバスがバス停を発車する時間

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
～7:00	1	0	0	0	0	0	1	0	2
7:00～7:15	0	0	7	4	0	1	2	0	14
7:15～7:30	4	0	38	8	0	0	28	0	78
7:30～7:45	5	1	128	22	2	3	62	0	223
7:45～8:00	6	2	234	41	2	8	136	0	429
8:00～8:15	8	0	330	51	0	6	154	3	552
8:15～8:30	10	0	336	51	2	6	179	3	587

8:30～8:45	7	0	194	28	0	3	78	2	312
8:45～9:00	0	0	55	11	0	4	34	0	104
9:00～10:00	0	0	11	0	0	0	4	0	15
無回答	1	0	53	12	0	3	10	0	79
計	42	3	1,386	228	6	34	688	8	2,395

表4. 2. 11. 12 医療的ケアの有無ごとの登校時のスクールバスがバス停を発車する時間

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
～7:00	0	2	0	2
7:00～7:15	0	13	1	14
7:15～7:30	9	68	1	78
7:30～7:45	22	199	2	223
7:45～8:00	35	391	3	429
8:00～8:15	43	503	6	552
8:15～8:30	56	524	7	587
8:30～8:45	24	286	2	312
8:45～9:00	8	94	2	104
9:00～10:00	1	14	0	15
無回答	9	70	0	79
計	207	2,164	24	2,395

d) 自宅からバス停までの平均的な移動時間（設問「ご自宅からバス停までの平均的な移動時間をお教えてください。」）

表4. 2. 11. 13に自宅からバス停までの平均的な移動時間を示した。表4. 2. 11. 14には子供の障害種ごとの自宅からバス停までの平均的な移動時間を、表4. 2. 11. 15には医療的ケアの有無ごとの自宅からバス停までの平均的な移動時間を示した。なお、表中の割合は「スクールバスを利用している」に該当する2,395人に対する比率を示した。

表4. 2. 11. 13 自宅からバス停までの平均的な移動時間

	人数（人）	比率（％）
0～15分	1,882	78.6
15～30分	349	14.6
30～45分	81	3.4
45～60分	14	0.6

60～75分	17	0.7
75～90分	2	0.1
90分以上	4	0.2
無回答	46	1.9
計	2,395	100.0

表4. 2. 11. 14 子供の障害種ごとの自宅からバス停までの平均的な移動時間

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
0～15分	15	2	1,090	188	2	29	551	5	1,882
15～30分	7	1	211	25	1	3	98	3	349
30～45分	4	0	42	10	2	1	22	0	81
45～60分	5	0	5	0	1	0	3	0	14
60～75分	6	0	6	2	0	0	3	0	17
75～90分	1	0	1	0	0	0	0	0	2
90分以上	2	0	0	0	0	0	2	0	4
無回答	2	0	31	3	0	1	9	0	46
計	42	3	1,386	228	6	34	688	8	2,395

表4. 2. 11. 15 医療的ケアの有無ごとの自宅からバス停までの平均的な移動時間

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
0～15分	158	1,705	19	1,882
15～30分	35	310	4	349
30～45分	4	77	0	81
45～60分	5	9	0	14
60～75分	0	17	0	17
75～90分	0	2	0	2
90分以上	0	4	0	4
無回答	5	40	1	46
計	207	2,164	24	2,395

(3) スクールバスを利用せずに登校していると回答した人への質問(設問「スクールバスを利用せずに登校している方にお伺いします。」) <回答者数2,788人>

a) 登校の際の付き添いの状況(設問「登校の際に付き添いをしていますか。(○は1つ)」)(複数

回答有り)

表4. 2. 11. 16には、登校の際の付き添いの状況を示した。表4. 2. 11. 17には子供の障害種ごとの登校の際の付き添いの状況を、表4. 2. 11. 18には医療的ケアの有無ごとの登校の際の付き添いの状況を示した。

表4. 2. 11. 16 登校の際の付き添いの状況

	人数 (人)	比率 (%)
自宅から学校まで自力で登校している	511	18.3
最寄り駅まで等の一部の区間は付き添いをしている	123	4.4
自宅から学校まですべて付き添いをしている	1,725	61.9
無回答	429	15.4

表4. 2. 11. 17 子供の障害種ごとの登校の際の付き添いの状況

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
自宅から学校まで自力で登校している	27	4	354	12	11	28	73	2	511
最寄り駅まで等の一部の区間は付き添いをしている	12	5	73	3	3	8	18	1	123
自宅から学校まですべて付き添いをしている	95	2	545	263	49	45	724	2	1,725
無回答	41	1	236	22	12	17	97	3	429

表4. 2. 11. 18 医療的ケアの有無ごとの付き添いの状況

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
自宅から学校まで自力で登校している	37	471	3	511
最寄り駅まで等の一部の区間は付き添いをしている	6	115	2	123
自宅から学校まですべて付き添いをしている	351	1,345	29	1,725
無回答	45	377	7	429

b) 付き添いをしている理由と主な付添人（設問「登校時に自宅からバス停まで付き添いをしている方にお伺いします。付き添いをしている理由と主として付き添っている人をお教えてください。」）

1) 付き添いをしている理由（設問「付き添いをしている理由」）

登校時に付き添いをしている理由の記述は、2,016件あった。主な意見は、「スクールバスがない」「てんかん等の疾患」「学校の方針」「病弱のため」「スクールバスの安全面」「遠方のため」「通学路のバリア」であった。以下、代表的な意見を示した。

- ・スクールバスがないので、自家用車で送迎している
- ・医療的ケアが必要でスクールバスに乗れない（てんかん発作があるかも）。重度の障がいがあり、一人で学校に行けないため。
- ・医療ケアがあると、スクールバスに乗れないという学校の方針
- ・病弱なため毎日遅刻。季節により早退も多く、バス乗車が体力的にも厳しい為。自家用車が必須である。
- ・地域外のため、スクールバスが来てもらえない。電車も近くに駅がなかったり、駐車場のことや乗換え、移動などで無理。車で送迎するしか方法はない。地域の支援校（知的）は難しいと言われた。
- ・幼児で、全盲、知的障害、自閉症があるため。また、公共交通機関は乗り換えが必要で、またバス停まで点字ブロック等環境整備されていないため。

2) 主として付き添っている人（設問「主として付き添っている人（○は1つ、複数回答有り）」）

表4. 2. 1 1. 1 9に主として付き添っている人が誰なのかを示した。表4. 2. 1 1. 2 0には子供の障害種ごとの主として付き添っている人を、表4. 2. 1 1. 2 1には医療的ケアの有無ごとの主として付き添っている人を示した。

表4. 2. 1 1. 1 9 主として付き添っている人

	人数（人）	比率（％）
父親	100	4.8
母親	1,549	74.3
兄弟姉妹	6	0.3
祖父	27	1.3
祖母	44	2.1
その他*	48	2.3
無回答	111	5.3

表4. 2. 11. 20 子供の障害種ごとの主として付き添っている人

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
父親	8	0	40	9	8	6	29	0	100
母親	81	7	468	247	43	43	657	3	1,549
兄弟姉妹	0	0	1	2	0	1	2	0	6
祖父	5	0	6	3	0	2	11	0	27
祖母	4	0	16	4	1	3	16	0	44
その他	8	0	13	3	0	2	22	0	48
無回答	9	0	77	5	0	2	18	0	111

表4. 2. 11. 21 医療的ケアの有無ごとの主として付き添っている人

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
父親	13	83	4	100
母親	322	1,203	24	1,549
兄弟姉妹	0	6	0	6
祖父	5	22	0	27
祖母	10	34	0	44
その他	9	39	0	48
無回答	9	99	3	111

「その他*」の記述内容

登校時に主として付き添っている人の「その他」の記述は、62件あった。主として付き添っている人は、「ヘルパー」（21件）、「移動支援」（6件）、「町営の通学支援運転手」（3件）、「施設職員」（2件）であった。

c) 登校時に使っている交通手段（設問「登校時に使っている交通手段は何ですか。（該当するすべてに○）」

表4. 2. 11. 22には、登校時に使っている交通手段を示した。表4. 2. 11. 23には子供の障害種ごとの登校時に使っている交通手段を、表4. 2. 11. 24には医療的ケアの有無ごとの登校時に使っている交通手段を示した。

表4. 2. 11. 22 登校時に使っている交通手段

	人数 (人)	比率 (%)
公共交通機関 (電車・バス等)	682	24.5
自家用車	1,926	69.1
ボランティア等の自動車	29	1.0
徒歩	464	16.6
その他*	185	6.6
無回答	94	3.4

表4. 2. 11. 23 子供の障害種ごとの登校時に使っている交通手段

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
公共交通機関 (電車・バス等)	49	9	477	8	13	31	92	3	682
自家用車	123	8	627	275	63	65	761	4	1,926
ボランティア等の自動車	2	0	11	3	0	1	12	0	29
徒歩	32	10	327	4	6	11	73	1	464
その他	2	0	115	9	3	8	48	0	185
無回答	9	0	37	10	2	4	30	2	94

表4. 2. 11. 24 医療的ケアの有無ごとの登校時に使っている交通手段

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
公共交通機関 (電車・バス等)	39	639	4	682
自家用車	368	1,526	32	1,926
ボランティア等の自動車	6	23	0	29
徒歩	28	432	4	464
その他	18	163	4	185
無回答	20	72	2	94

「その他*」の記述内容

登校時の交通手段の「その他」の記述は、184件あった。主な交通手段は、「自転車」(93件)、「福祉タクシー」(8件)、「タクシー」(6件)であった。

d) スクールバスを利用していない理由（設問「スクールバスを利用していない理由をお教えてください。（○は1つ）」）

表4. 2. 11. 25には、スクールバスを利用していない理由を示した。表4. 2. 11. 26には子供の障害種ごとのスクールバスを利用していない理由を、表4. 2. 11. 27には医療的ケアの有無ごとのスクールバスを利用していない理由を示した。

表4. 2. 11. 25 スクールバスを利用していない理由

	人数（人）	比率（%）
自力で登校ができるから	506	18.1
自宅の近くまでスクールバスが来ないから	503	18.0
その他*	1,594	57.2
無回答	206	7.4

表4. 2. 11. 26 子供の障害種ごとのスクールバスを利用していない理由

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
自力で登校ができるから	21	4	376	9	8	26	61	1	506
自宅の近くまでスクールバスが来ないから	47	2	171	63	20	16	184	0	503
その他	95	5	570	209	45	46	621	3	1,594
無回答	13	1	97	20	4	10	57	4	206

表4. 2. 11. 27 医療的ケアの有無ごとのスクールバスを利用していない理由

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
自力で登校ができるから	34	467	5	506
自宅の近くまでスクールバスが来ないから	63	433	7	503
その他	313	1,256	25	1,594
無回答	35	166	5	206

「その他*」の記述内容

登校時にスクールバスを利用していない理由の「その他」の記述は1,521件あった。主な意見は、「車いす対応のバスではない」、「学校の許可が降りない」、「安全面」、「スクールバスがない」、「バス利用者の定員を超えている」、「寄宿舍利用」、「医療的ケアなどが必要である」であった。

以下、代表的な意見を示した。

- ・リフト付きスクールバスではないので乗車が困難なため。
- ・学校規定で高等部から利用できない。
- ・自力でスクールバスの席に座れないと利用できない。
- ・常に介助者がいないといけないから。スクールバスがないから。
- ・バスの定員を希望者が超えているので断られる。
- ・自力の登校は無理だから、寄宿舎に入っているとスクールバスは利用できないから。
- ・医療的ケアをしているため、スクールバスに乗車できない決まりがあるから。

4. 2. 12 学校からの下校の際の手段等（設問「学校からの下校時の手段等についてお伺いします。」）

（1）下校時のスクールバス利用状況（設問「お子さんは下校時にスクールバスを利用していますか。（○は1つ）」）

表4. 2. 12. 1には、下校時のスクールバス利用状況を示した。表4. 2. 12. 2には子供の障害種ごとの下校時のスクールバス利用状況を、表4. 2. 12. 3には医療的ケアの有無ごとの下校時のスクールバス利用状況を示した。

表4. 2. 12. 1 下校時のスクールバス利用状況

	人数(人)	比率 (%)
利用している	2,127	40.9
利用していない	3,035	58.3
無回答	40	0.8
計	5,202	100.0

表4. 2. 12. 2 子供の障害種ごとの下校時のスクールバス利用状況

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
利用している	40	2	1,206	217	4	28	622	8	2,127
利用していない	177	13	1,383	307	79	101	966	9	3,035
無回答	2	0	15	6	0	3	13	1	40
計	219	15	2,604	530	83	132	1,601	18	5,202

表4. 2. 12. 3 医療的ケアの有無ごとの下校時のスクールバス利用状況

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
利用している	194	1,912	21	2,127
利用していない	448	2,541	46	3,035
無回答	5	32	3	40
計	647	4,485	70	5,202

(2) スクールバスを利用して下校していると回答した人への質問（設問「スクールバスを利用して下校している方にお伺いします。」） <回答者数 2,127 人>

a) スクールバスのバス停から自宅までの付き添いの状況（設問「スクールバスを利用して下校している方にお伺いします。スクールバスのバス停から自宅まで付き添いをしていますか。（○は1つ）」

表4. 2. 1 2. 4には、バス停から自宅までの付き添いの状況を示した。表4. 2. 1 2. 5には子供の障害種ごとのバス停から自宅までの付き添いの状況を、表4. 2. 1 2. 6には医療的ケアの有無ごとのバス停から自宅までの付き添いの状況を示した。

表4. 2. 1 2. 4 バス停から自宅までの付き添いの状況

	人数(人)	比率 (%)
学校から自宅までスクールバスを使って自力で下校	218	10.2
スクールバスのバス停から自宅までは付き添いをしている	1,890	88.9
無回答	19	0.9
計	2,127	100.0

表4. 2. 1 2. 5 子供の障害種ごとのバス停から自宅までの付き添いの状況

	子供の障害								計
	視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	その他	重複	無回答	
学校から自宅までスクールバスを使って自力で下校	11	1	152	12	2	7	31	2	218
スクールバスのバス停から自宅までは付き添いをしている	29	1	1,042	202	2	20	588	6	1,890

無回答	0	0	12	3	0	1	3	0	19
計	40	2	1,206	217	4	28	622	8	2,127

表4. 2. 12. 6 医療的ケアの有無ごとのバス停から自宅までの付き添いの状況

	医療的ケアあり	医療的ケアなし	無回答	計
学校から自宅までスクールバスを使って自力で下校	14	198	6	218
スクールバスのバス停から自宅までは付き添いをしている	180	1,695	15	1,890
無回答	0	19	0	19
計	194	1,912	21	2,127

b) 付き添いをしている理由と主な付添人（設問「下校時にバス停から自宅まで付き添いをしている方にお伺いします。付き添いをしている理由と主として付き添っている人をお教えてください。」）

1) 付き添いをしている理由（設問「付き添いをしている理由」）

下校時に付き添いをしている理由の記述は 1852 件あった。主な意見は「遠方のため」「公共交通機関を使う能力が不足」「学校の方針」「公共交通機関がない」「てんかん等の疾患」であった。

以下、代表的な意見を示した。

- ・バス停まで遠いので。肢体不自由、知的な遅れがあるため付き添いがなければ自力で帰って行くことができないから。
- ・子ども一人で公共交通機関を使用できない。
- ・学校の規定で必ず付き添いをするというきまりがあるため
- ・公共交通機関が不便な為
- ・てんかん発作で転倒の危険が常にあるため。危険認識なし。信号も分からない。

2) 主として付き添っている人（設問「主として付き添っている人（○は1つ、複数回答有り）」）

<回答者数 1,890 人>

表4. 2. 12. 7に主として付き添っている人が誰なのかを示した。表4. 2. 12. 8には子供の障害種ごとの主として付き添っている人を、表4. 2. 12. 9には医療的ケアの有無ごとの主として付き添っている人を示した。

表4. 2. 12. 7 主として付き添っている人

	人数(人)	比率(%)
父親	41	2.2